



日野市環境情報センター(愛称かわせみ館)は環境に関する情報を収集・分析・発信するために、2005年7月に市民・事業者・学校・行政の協働で開設されました。

## かわせみ館フェア開催 市民の方々に様々な環境保全への取組みを紹介しました

3月22日(土)から26日(水)正午まで日野市役所1階101会議室で「かわせみ館フェア」が開催されました。フェアでは、日野市内で緑、水、ごみ、CO<sub>2</sub>削減など様々な環境保全の活動をしている市民団体の取組を紹介するパネル展をメインに、自然に親しんでいただくことを目的に、親子を対象とした特別セミナー「カブトムシの育て方教室」、会場に来られた方々に参加していただく「木の葉のしおり作り教室」が実施されました。期間中に来場された方は市民を中心に市の職員も含め200人を超えました。パネル展には日野市環境基本計画推進会議の4グループ(みどりG、水G、ごみG、CO<sub>2</sub>G)など全部で18団体が参加、それぞれ工夫を凝らしたパネルで活動内容などを紹介、市民の方々が熱心に見ていました。「カブトムシの育て方教室」には親子30人が参加、また、「木の葉のしおり作り教室」では、来場者の方々が市の木であるシラカシの葉などを使った「しおり作り」を体験しました。2つの教室ともなかなかの賑わいでした。

環境情報センターは、2013年度の活動報告や2014年度の活動予定、樹齢131年のサワラの木の年輪に日野市の歴史を重ねた「年輪年表」、職員手作りの「ピコ水力発電機」などを紹介しました。また、木の冬芽の名前当てクイズも実施、来場者の方々が興味深そうに挑戦していました。

今回のフェアは、市民や市民・行政協働による環境保全への取組みを広く市民の方々に知っていただく機会を作るとともに、日野市環境情報センターかわせみ館の活動についての紹介を行うことを目指した初めての試みでした。来年以降もより一層充実した内容で開催していきたいと考えています。ご期待ください。



## 平成 25年度「エコキング冬」の調査結果がまとまりました。1年間に換算すると日野市内の森や林をあわせた面積の約1.3倍の面積の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>が削減されたこととなります。

平成25年度「エコキング冬」の調査結果がまとまりました。「エコキング」とは、市内の全小学校にご協力いただき、小学生のいる家庭の夏と冬のある1日のエコ活動を通して、CO<sub>2</sub>がどれくらい削減されるかを調査するものです。日野市環境基本計画推進会議CO<sub>2</sub>グループ主催で平成18年からスタートし、今回で14回目です。

平成25年度の冬は昨年(2013年)の12月14日(土)の1日のエコ活動について聞きました。市内の小学生9,434名(平成25年5月1日時点)のうち約68%の6,404名が参加、下記の1~7まで7つのエコ活動の実施状況を調べました。最も実施率が高かったのは「お風呂には家族の人と続けて入るようにする」で83.9%、最も低かったのは「テレビを見る時間をいつもより30分短くする」で64.3%でした。7つのエコ活動のそれぞれの実施者数にその活動で削減される1日分のCO<sub>2</sub>の量を掛けてその合計をみると、12月14日の1日間のCO<sub>2</sub>削減量は3,740,397gで「テニスコート約15面分(約7,480m<sup>2</sup>)の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量」と同じになります。このエコ活動を1年間続ければこの365日分で約1,365トン、テニスコート約5,460面分の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>が削減されることになり、これは「日野市内の森や林をあわせた面積(2007年度2,030,000m<sup>2</sup>)の約1.3倍の森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量」になります。日々の小さなエコ活動の積み重ねが温暖化対策に大きな貢献をもたらします。

\* CO<sub>2</sub>削減量はテニスコート1面(約500m<sup>2</sup>)当たりの森林が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>の量250kgで換算

### <エコキング 7つのエコ活動とその実施率>

- |  |       |
|--|-------|
| 1 買い物にマイバッグを使いレジ袋をもらわない (62g)                  | 74.8% |
| 2 テレビを見る時間をいつもより30分短くする (48g)                  | 64.3% |
| 3 家族が一つのへやで過ごすようにする (108g)                     | 83.8% |
| 4 シャワーの使用時間を1分減らす (81g)                        | 79.9% |
| 5 電気製品を長く使わないときは主電源をオフにするかコンセントからプラグを抜く (165g) | 71.6% |
| 6 暖房機のスイッチは外出や寝る直前ではなく15分くらい前に切る (40g)         | 69.7% |
| 7 お風呂には家族の人と続けて入るようにする (245g)                  | 83.9% |

\* ( ) 内数値は1日で減らせるCO<sub>2</sub>量 但しエコ活動3は4時間分

平成25年  
**エコキング冬** (愛称)  
(日野市環境基本計画推進会議)

見守るから、電気の節約で  
みんなの未来の地球をまもろう！

出番だよ！お家の方と一緒にエコキング！  
12月14日(土)に夏のページのエコキングもろう！

環境情報センター 日野市環境情報センター

## 市民環境大学OB会

私たちOB会は、市民環境大学の修了生で構成されています。その市民環境大学を一年受講し続けることはそんなに容易ではありません。それでも頑張る意欲は、楽しく魅力のあるご指導があるからだと思えます。

さらに、私たちは学んだことをベースに日常の諸事象について関心をもって、小さな疑問でもみんなで考え、課題として共有に努めています。

是非、市民環境大学で学んでOB会に入り環境に敏感な市民として、環境先進都市をめざし努力していきましょう。

現在、OB会は下記の取組みをしています。

- ①地域の環境を中心に情報交換など
- ②「川と湖を見る・知る・探る」の購読
- ③市内定点の放射線量を測定
- ④身近な水環境の全国一斉調査へ参加
- ⑤大気汚染（NO<sub>x</sub>）の一斉調査へ参加
- ⑥河川や水源の観察、水関係施設などの見学
- ⑦環境にかかわる講和など



市民環境大学 授業の様子



OB会が放射線量を測定

## ★日野の植物との触れ合いとその保全★ (その2)

### <カザグルマを絶滅から守る>

三池田 修（東京都立高校教諭、南平在住）

クレマチスと聞くと、5月頃開花する大輪系の園芸品種を思い浮かべる方々も多いと思います。実は、その園芸品種の元となった野生のクレマチスはキンポウゲ科クレマチス属のカザグルマで、園芸品種同様に大輪の花が咲き、日野市内にも自生しています。

カザグルマは日本のほか朝鮮半島と中国東北部に分布します。カザグルマはかつてシーボルトが日本からヨーロッパに持ち帰り、ヨーロッパで園芸品種の交配親に使われました。しかし現在日本では、環境省により準絶滅危惧種に選定されています。

絶滅危惧とは、以前はしばしば見かける植物であったのに、何らかの原因で今は数少なくなり、このままでは絶滅の恐れが高まった状況にあることを意味します。では、どうして絶滅の危機にさらされているのでしょうか。カザグルマの場合、生育に適した環境が必ずしも保たれなくなったことや、園芸目的の採集が原因でしょう。

カザグルマは他県にも分布し市内でも複数の自生地があるのだから、市内の一か所くらいなら自生地が失われても構わない、ということはいけません。その理由にたとえば、生物間の持ちつ持たれつ関係の一角が自生地周辺で失われてしまうことによる負の影響や、各自生地の個体もつ特有の遺伝子（遺伝的な変異）をこの世から消失してしまう可能性があげられます。現在の生態系と遺伝子資源の保全の両面から、カザグルマのような絶滅の恐れがある植物を、その危機から守ることはたいへん重要な課題です。

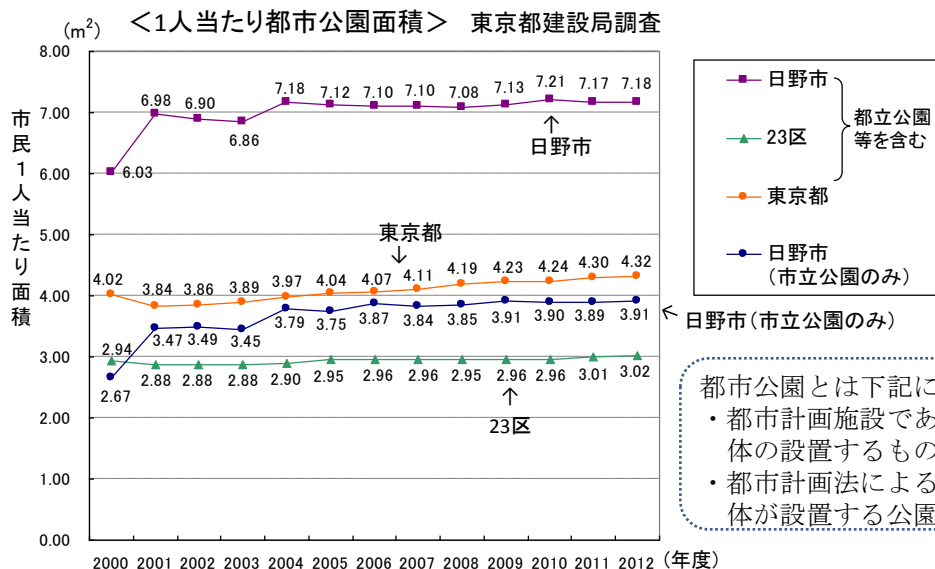
（次号では絶滅危惧種の保全方法について解説していただきます。）



準絶滅危惧種カザグルマ

日野市には都立の多摩動物公園や市立の日野中央公園から住宅地の中の小さな公園まで大小合わせて200近い数の都市公園があります。東京都建設局の調査によると2012年度の市民1人当たりの都市公園面積は、都立公園を含めて前年度とほぼ同じ7.18㎡（約4畳半の広さ）で、東京都の平均4.32㎡の約1.7倍になります。日野市の2020年度の目標が9.00㎡ですので、目標の8割程度の広さです。日野市の市立公園のみでは1人当たり面積は3.91㎡になります。新しい公園としては2012年5月に四谷前公園、2013年1月に落川河原公園が開園しました。

また、2013年4月1日時点の市民1人当たりの公園面積を日野市に接している6市と比較すると、日野市は5番目になります。最も広いのは多摩市で15.89㎡、次いで八王子市11.39㎡、昭島市9.70㎡、立川市9.05㎡、日野市が7.18㎡で5番目、府中市6.93㎡、最も狭いのは国立市で1.89㎡です。



黒川清流公園

都市公園とは下記に該当する公園または緑地です。

- ・都市計画施設である公園又は緑地で、国又は地方公共団体の設置するもの
- ・都市計画法による都市計画区域内において、地方公共団体が設置する公園又は緑地

■2013年度「みんなの環境セミナー」には大勢の市民の方々が参加されました

2013年度の「みんなの環境セミナー」（環境情報センター主催）は“フィールドに出よう”をテーマに4月から全12回の予定でスタートしましたが、今年2月のセミナーが大雪のために中止となり、11回の開催となりました。参加者数は合計298名、1講座の平均参加者数は27名。前年度は同じく11回の開催で合計187名の参加者でしたから、前年度に比べて今年度の参加者は111名増えました。約6割増と大幅アップです。

日野の緑や水の保全、家庭でできる省エネルギーなど身近な環境保全への取り組みや自然観察などを中心に、小学生から年配の方々まで市民の皆さんが楽しく学べる講座を開催しました。

また、3月に行われた「かわせみ館フェア」では、特別セミナーとして「カブトムシの育て方教室」「木の葉のしおり作り教室」を開催、参加された親子や市民の方々が賑わいました。

＜2013年「みんなの度環境セミナー」のテーマと参加者数＞

開催日	回数	テーマ	参加者数
4月21日	第62回	日野の貴重植物1	16名
5月18日	第63回	緑のカーテンづくり	31
6月16日	第64回	日野の貴重植物2	24
7月4日	第65回	谷仲山の水と緑探検（市民環境大学公開講座）	36
7月27日	第66回	親子でソーラーエコ教室	31
8月17日	第67回	浅川で遊ぶ・川の生き物観察	24
9月14日	第68回	里山づくり（雑木林ボランティア講座4回目）	29
10月6日	第69回	世界の森林荒廃を考える	22
10月19日	第70回	虫や風を利用する花たち（雑木林ボランティア講座5回目）	42
11月16日	第71回	秋の倉沢、百草を訪ねて	22
12月5日	第72回	向島用水を訪ねる（市民環境大学公開講座）	21
2月16日	第73回	東光寺緑地の管理 → 大雪のため中止	
セミナー参加者数 合計			298名

# ■1～3月の活動報告

## 1月24日（土） 平成25年度環境学習講演会開催

日野中央公園で、日本シェアリングネイチャー協会の井上満氏を講師に迎え環境学習講演会「ネイチャーゲームで冬の自然とあそぼう」を開催しました。「ひのどんぐりクラブ」との共催です。例年は先生方を対象としていますが、今回は市民の方々にも体験していただこうと土曜日の実施となりました。参加者はスタッフを入れて26名、市民の参加は小学生7名を含む17名でした。参加した大学生からは「実習体験ができ、自分の学習目標にとってよいスキルになった」、また小学生からは「木の幹にいろいろな目を描いて面白かった」などの感想が寄せられました。

## 2月3日（月）～27日（木） 市役所1階市民ホール「日野で見られる昆虫の写真展」開催

市役所1階市民ホール展示企画第2弾「日野で見られる昆虫の写真展」は、前半（3～15日）は「丘陵地の昆虫」、後半（17～27日）は「河川敷の昆虫」というテーマで開催。都知事選や市議選の事前投票の期間と重なったこともあり、大勢の市民の皆さんが見学、蝶やバッタ、タマムシなど日野の丘陵地や浅川・多摩川の河川敷で見られる昆虫たちの迫力のある写真に見入っていました。



ナガサキアゲハ



クモガタヒョウモン



## \* \* 平成26年4月～6月の行事・イベントのお知らせ \* \*

### 5月11日（日） みんなの環境セミナー「東光寺緑地の管理と植物観察」

春の様々な植物が楽しめる東光寺緑地で、植物観察と竹の伐採を明星大学の学生と行います。午前10時から正午までの2時間、緑地の管理とともに春の植物観察を楽しみましょう。募集人数は20名、参加料は無料です。広報ひの5月1日号で参加者を募集します。

### 6月11日（水）～25日（水） 「クレマチスの仲間たち」写真展

市役所1階市民ホール展示企画第3弾として、日本各地で見られるいろいろな種類の野生のクレマチスの写真展を開催します。クレマチスの研究家である三池田修氏が撮影した貴重な写真の数々をご覧ください。

### 6月15日（日） みんなの環境セミナー「クレマチス、野生種のいろいろと保全の必要性」

上記写真展にあわせて開催します。講師に三池田修氏を迎え、市役所201会議室で開催です。準絶滅危惧種であるカザグルマなど日野でも見られるクレマチスの仲間とその保全についてお話していただきます。

広報ひの6月1日号で参加者を募集します。

### 6月26日（木） みんなの環境セミナー「真堂が谷戸ホテル観察会」

真堂が谷戸蛍の会、日野市緑と清流課との共催で真堂が谷戸の水辺でホテルの観察会を開催します。昨年は同じ時期に約60頭のホテルが観察されました。広報ひの6月1日号で参加者を募集します。

## ★「ひの緑のトラスト」募金活動にご協力を

百草地区には貴重な雑木林が市民と行政の協働により残されており、市民による保全活動が活発に行われています。この貴重な里山の保全を進めるため「日野緑のトラスト」が設立され、募金活動を行っています。環境情報センターでは「ひの緑のトラスト」の事務局として、募金活動などを担当しています。市内の緑地保全のための募金にご協力をお願いします。詳細は環境情報センターまでお問い合わせください。



発行 日野市環境情報センター  
〒191-0011 東京都日野市日野本町1-6-3  
Tel/fax:042-581-1164  
Eメール: kankyo@m2.hinocatv.ne.jp